

のうきよう ちがべつ

謹賀新年



'89 **1**
No.169

謹賀新年！

皆々様お健やかに初春を
 お迎えのころと存じます
 本年もなにとぞよろしく
 お願ひ申し上げます

一九八九年 二月



中標津町農業協同組合

組合長理事

児玉光彦

副組合長理事

山本雪信

理事

佐々木政行

〃

鷺見孝

〃

竹下吉日

〃

秋山政雄

〃

久我良夫

〃

斉藤哲雄

〃

鈴木祥幹

代表 監事

瀧平義明

監事

岡部藤載

白田慶和

外職員一同



団結し、試練の時代を乗り切ろう

中標津町農業協同組合組合長理事 児 玉 光 彦

明けましておめでとございます。

一九八九年を組合員の皆様には御家族お揃いで迎えられた事を、心よりお慶び申し上げます。

総じて、内需主導型の着実な成長路線を歩んできたと思われる日本経済でありましたが、農業を取りまく状況は、主要農畜産物の生産抑制、生産者価格の引き下げ等、農畜産物の十二品目に対するカット裁定、日米日豪牛肉交渉のきびしい内容の決着、また、一方的な米市場解放圧力と、農業にとって課題の多い年でありました。

酪農においては、保証乳価は三年連続の引き下げとなりましたが、初生仔牛の価格が高値となったほか、飲用牛乳の伸びが続き、乳製品向け生乳が激減し、減産型計画生産から若干、生産の伸びが見られ、酪農経営に一抹の光が見えた年でありました。

しかし、馬鈴薯澱粉においては、円高が進む中であって、製品輸入や澱粉誘導体の増加が一層強まり、澱粉の生産計画も二六万一千トンに押さえられ、また、繰り越し在庫が六万七千トン以上となり、きびしい状況でありました。

昨年の作況は、全道的に豊作と言われる中であって、当地域は春先のスタートは良く、一番草収穫は、天候にも恵まれ、量・質共に良好となり、豊作を思わせました。

しかし、二番草収穫時期は、雨が多く乾草は出来ず、ロールパック収穫となりました。馬鈴薯にあっては、雨の影響が収量はもとより、かつてない低ライマン価となるなど、生産者の御苦労の多かった年でありました。

さて今年であります、酪農、農業協を取りまく状況は、農畜産物の価格の低迷、市場解放圧力の増大、金融の自由化、市場競争の激

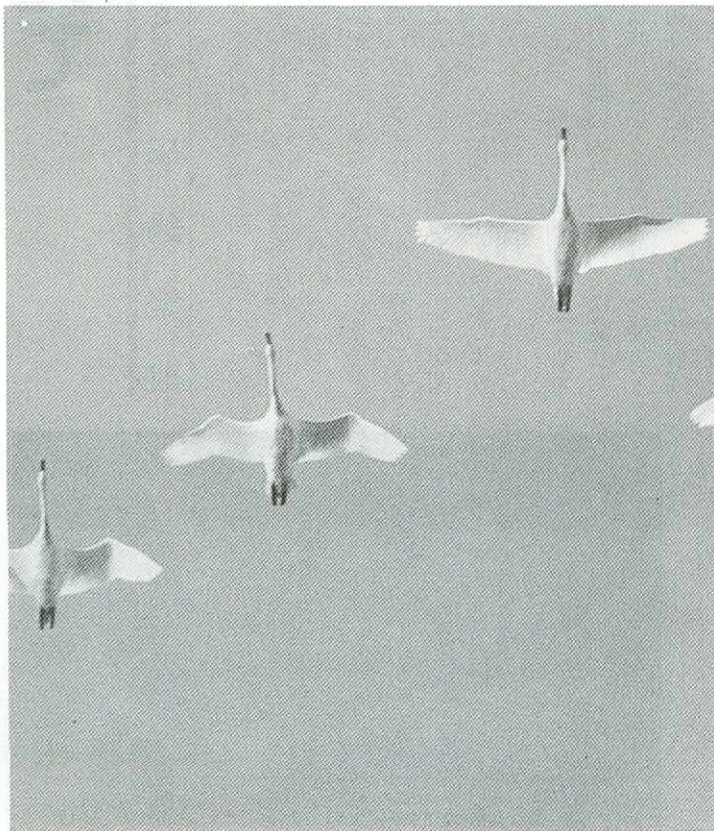
化等、きびしい状況にあると考えられます。

農協も激変する経済環境を充分認識し、幾多の難局を常に強い団結と英知で乗り切ってきた先人の

教訓を柱に、新しい時代の農業、農協へ向けて現時点の問題を克服し、試練の時代を乗り切ろうではありませんか。

どうか、組合員皆様の一層の御協力をお願い致します。

最後になりましたが、組合員御家族皆様のご健勝と御多幸をお祈りし、ご挨拶と致します。





新しい年を迎えて

北海道農業協同組合中央会会長 床鍋 繁 則

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年が組合員並びに役職員の皆様にとって明るい良き年でありますよう心から念じております。

さて、昨年の北海道農業の作況は組合員農家をはじめ関係各位のご努力により、総体では平年作を確保することができましたことはご同慶に存する次第であります。

しかし、一部の地域におきましては、最善の努力をされたにもかかわらず、低温、集中豪雨、降雹等の被害を受けられた方々に対し、心より御見舞い申し上げます。今年には豊稔の秋を迎えられますよう祈念申し上げます。

われわれの農協運動は、つねに組合員の営農と生活を守るため、組合員の主体的な協同理念に基づく実践活動を踏まえて、本道農業の安定確立をはかるべく組織をあげて努力を傾注してまいりました。いま、北海道農業は主要農畜産

物の生産抑制、生産者価格の引き下げなどにより、深刻化した農家経済に対する抜本的な対策、また、農畜産物十二品目に対するガット裁定、および日米、日豪牛肉交渉の一段と厳しい内容の決着、さらには米国から一方的なコメ市場の開放要求等々、多くの課題が山積しております。

特にコメ市場開放を要求する全米精米業者協会提訴についての米国政府の姿勢は提訴自体は却下したものの、日米交渉やウルグアイ・ラウンドの結果次第では、新貿易法を適用するという条件を付したものであり、絶対に容認できるものではありません。今後とも国民各層のご理解とご支援を得て、コメの市場開放阻止と完全自給政策の確立に組織をあげて取り組む決意であります。

系統農協組織が昨年四月に策定した「北海道農業基本構想後期方針」は、五十八年に策定した農業

基本構想の路線を踏まえつつ、安全、良質、廉価な農畜産物の供給を通し、自給率をたかめ、二十一世紀に向けて競争力のある足腰の強い農業を構築し、農家経済の安定と北海道を名実ともに、わが国の食糧供給基地として確立しようというものであります。

また、昨年十一月開催の第十九回北海道農協大会において決議した、新時代を拓く北海道農業の構策と、組合員の期待にこたえる組織基盤強化のため、系統農協組織の総力をあげて農協合併に取り組み、その実現をはかることとしておりますので、組合員を始め役職員の深いご理解とご支援をお願いする次第であります。

さらに系統農協は、農村の豊かな自然環境の中で地域に根ざした生活文化活動など、健康で心豊かな住みよい農村生活の向上をはかる幅広い生活活動の展開を提唱し、その実践に取り組んでまいりたい



と存じます。

特に、生活の基本であります健康管理活動、今日の本道農業の基盤を築きあげてきた高齢者に対する生きがいをはかる活動、さらには後継者の育成など地域住民、関係機関と連携しつつ組合員のニーズにこたえる活動の展開が必要であります。年頭に当たり、多くの道民の皆様とともに英知を結集して北海道農業が力強く前進するよう、念願してやみません。

英知を結集して、21世紀を切り拓こう。

中標津町農業協同組合参事 五百木 忠雄



新年おめでとうございます。昨年、ガット問題で、日本農業も遂に国際競争の時代が現実となった年でありました。

しかし酪農については、幸いに飲用乳等の消費が伸びておりまして、牛乳が搾れる状況になり、昨年農協だよりの年頭のご挨拶で申し上げ

ましたお願いが、はからずも願ひどおりになり、大変うれい事です。

一方畑作の馬鈴薯澱粉については、自由化の影響が大きく、生産調整、価格の大幅な値下がり等、大変きびしい時代に入りました。農協も昨年は、役員も職員も馬鈴

薯の市場開拓に都府県へ出掛け、販路開拓、情報の収集につとめてまいりました。

また昨年は、組勘、貸付金利率の引下げ、年末には肥料、農薬、燃料等の割戻しを前年以上に行い、組合員のコスト軽減対策に農協も努力をしてまいりました。

これからの国際競争を勝ち抜いていくには、いくつかの難関を乗り越えなければならぬと思ひます。皆さんの英知をもって二十一世紀を切り拓いていただきたいと思ひます。

寒さ一段と厳しくなつてまいりますが、組合員の皆様にはご家族共々ご健勝で、実り多い年となりますよう、ご祈念を申し上げます。新年のご挨拶といたします。

長寿連産を目指す改良を

中標津乳牛改良同志会会長 土井上 昭男



明けましておめでとうござい

す。日頃より乳牛改良同志会の活動に對しまして、御理解を頂き、また、農協をはじめ指導機関の皆様、各授精所、そして多くの商社の皆様方の御協力と御援助に對し、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。

会長のみならず、管内副会長、

道東四地区の理事と、大役を受け大変な一年でしたが、多くの優秀な先輩ブリーダーと同席し、話しをする機会を得て、とても勉強になりました。彼らの常に休まぬ改良努力の姿勢を見て、共感した事について書いてみます。

最近、種雄牛の選定について不安を感じております。HPD円、

HPDM、HPDFとか言うデータに振り回されているのではな

いか？と思ひます。これらのデータは、初産時の成績が基礎となつています。一産、二産で肉に出すのであれば改良の必要がありませんが、やはり長寿連産を目指して改良し、その生涯にどれだけの成績を上げたかが、今後話題になつていくだろうと考えられます。

そのためにも、単に成績データだけでなく、二代・三代前のペテグリーも見直す必要があると思

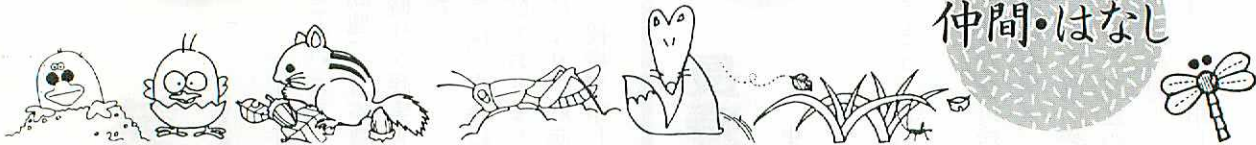
ひます。厳しい時代とは言わず、難しい時代と言え、と前会長より教わりました。

同志会の活動もなかなか大変ですが、会員の皆さんの参加協力と、周囲の方々の御理解、御協力を受けながら、すばらしい活動を続けたいと思ひます。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御多幸をお祈りしつつ、新年の御挨拶といたします。

なかま

仲間・はなし



感激

協和 麻郷地 喜佐子

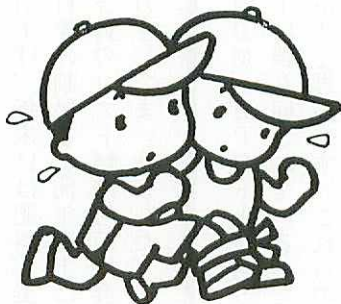
協和へき地保育所の運動会のプログラムを持って青年部の方が見えました。

「競技が沢山ありますので是非来て下さるように。」とのことでした。開催場所が協和部落会館のグラウンドなので行こうとは思っていません。

前日の夕方、農協青年部の部長宅を訪れた時、小学生も出場する種目が沢山あるので、私の孫の未知留も連れて来たらしいよと、すすめてくれました。その部長さんの心くばりがとても嬉しくて、急いで家に帰り早速電話したところ折良く孫が電話に出ました。明日の運動会のことを知らせると、「うん行く行く!!」と、受話器を持ってそのまま、ポンポン跳ねて喜んでくれる様子が伝わって来ました。明日、迎えに行く約束をし電話を切りま

した。

朝、目をさますと初秋の日差しがとても暖く運動会日和でした。大急ぎで片付けをすませ、孫を迎えに町へ行きました。孫は私が迎えに行くのを待ちながらローラースケートで元気良く遊んでいました。私の姿を見ると日焼けした顔でニッコリ笑って車に飛び乗って来ました。



お店で二人分のジュースと弁当おやつなどを買い、うきうきした気分です。車を走らせ東小学校の前を通りかかった時、私の車の前方を大急ぎで横切って行く人が目につきました。

孫が思わず、「アッ、校長先生だ!!」と叫ぶと、その人はふと振

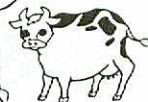
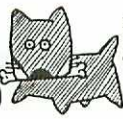
り返りニッコリ笑って手を振って下さいました。孫は嬉しそうに車の窓から体をのり出し懸命に手を振っていました。私も軽く頭を下げたのですが胸がいっぱいになる思いでした。いつか農協婦人部の講演を東小学校の山崎校長先生にお願した時、私も出席し聞いたことがありましたが、確かに今の人は校長先生でした。

生徒数六百数名という東小学校校長先生が生徒一人一人の顔を知ることにはないでしょう。小学三年生の小さな女の子に足を止め、振り返り手を振って下さった山崎校長先生に頭が下がりました。孫に気がかすんでしまいました。孫に気がかかぬよう他のことを話しながらふと、小さい頃からとても好きな詞を思い出して、口ずさんでいました。「実るほど 頭の下がる稲穂かな。」と……。

孫と私がグラウンドに着いた時はもう競技が始まっていて、飛んだり跳たり、中には自分のお母さんがピリになったと泣く子もいてそれはもうにぎやかでした。

みんな、

仲間・はなし



最初はためらっていた孫もだんだん馴れるにつれて自分からスタートラインに立ち、走るたびに賞品を頂き、それはそれは嬉しそうでした。

やがて終りに近づき一般の部の最後の二人三脚の時、「人数が足りないのでどなたか出場して下さい。」の声には私はそばにいた若い人の手を取りスタートラインに走って行きました。渡されたハチマキで足を結び、結んだ足の方から出して、かけ声をかけ合いながら頑張ろうと二人の準備は万全と思っていた時、青年部の人がいかにも速そうな格好で私の横に並びました。その時、「オーイやめろ女の人だぞ。」と声がかかり、二人を止めようとしたのですが、「勝ったって負けたっていいじゃない。」と私が勧めると二人は心良くしてスタートラインに並びました。

私の胸の高鳴りはどこへやら、

ドーンという音とともに二人で決めた通りしっかりペースを守って走りしました。青年部の若い二人組は私達の前をかけ声をかけながら

走っていました。私達も夢中で走りました。ふと気がつくとき真っ白いテープが目の前にあり、私達が一等でした。「ワー」と喜び合い後をふり返えると、相変わらず二人は早そうな格好で笑いながら足踏みをしていました。

彼らは私達に花を持たせて下さったのです。私は一等の賞品をかかえながら、言い知れぬ喜びを感じました。

初秋の日の感激の一日でした。

今年の夏は……

がんばる三児の父

国道四〇号線を、旭川から北上すると、小説の舞台となった、塩狩峠を越え、しばらく車を走らせると、田園風景が視界に入ってくる。

戦後、食糧増産を旗印に国を上げて、米の生産拡大に力を注ぎ、食糧不足からの解消が国民の願いであった、平坦地は、ほとんど水

田に、山地も水をポンプで汲み上げ米作りに励んできた、しかし、増産計画は予感に反し早期達成となった。逆に減反と言う、逆転現象となり、田園風景は、大きく変貌を余儀なくされたと聞いている。

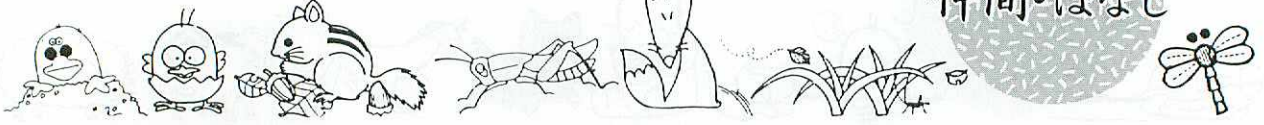
この地方で生れ育った私は、この地を離れて二〇年余りを過ぎてしまった。あの少年時代に貧乏という言葉は、耳慣れた事であったが、今は、あまり聞いた事がない。



ただ働く事に毎日を費やし、余暇とか、旅行とか、耳にする事が無く、生きるために一生懸命な古き時代の生活は今はない。その頃、隣り同志の対話の多い生活にはそこに暖かい何かがあった、そこへ何かがあるだろうと、今年の夏は、家族で出かけてみよう、思い耽っている。

なかま

仲間・はなし



「なまで食べられる ホウレン草」

安全食品を考える会

松岡 喜代之助

私はこの度自立推進協議会が主催する移動村づくり大学に参加し有機農業による無農薬栽培の研修に参加しました。なまで食べられるホウレン草の農家の話を聞いた時は信じられなかった。

九州のある山村の藤村房夫さんは、長い間ハウスで色々な作物を作ってきたが、どうしたことか年毎に作物の出来が悪く頭を痛めていたところ、ある人の紹介で、中嶋先生(注)のことを聞き、色々相談してなまで食べれるホウレン草づくりになり三年前に取り組んだそうです。なまで食べれるホウレン草づくりには、まず土を知ること、野菜は生きもの、いきているものが必要とするものを与えてやること、中嶋先生は現在までの農業は目先の収入増ばかり考え化学肥料にのみたよりすぎ本物の野菜づくりには

はなっていない、土壌を改良する場合十二品目の検定をしなければならぬのに、五品目か六品目のみの検定で肥料設計しているところに、誤りがあると言うことを説いたそうです。

藤村さんはその話を聞いて中嶋先生の指導のもとでなまで食べれるホウレン草づくりに取り組み三年になるそうです。九州の暖い所でも五回か六回のホウレン草づくりが中嶋先生の指導によって、現在九回も出来るようになったそうです。化学的な土づくりにより、ハウスによる栽培と言えども二反五畝の土地で、一千万円からの収入が得られるようになったことは、藤村さんが中嶋先生の指導で真剣にやってきた成果だと、研修に参加した五〇名の方は感服しました。三年も同じハウスでつくっているのに、連作障害もなくやっているその不思議、またハウスの中に五〇名の研修生が入って見たが、土はフカフカしていた。なまで食べてもにがみもなく、ジュースにして飲むことも出来るホウレン草、

生きた作物と言うことはこのことでしょう。

ホウレン草食べて、力モリモリのポパイがいたら、いかに喜ぶことでしょう。ホウレン草はもともとゆでて食べるもの、又ゆでた場合アクが出るのがあたりまえ、そのあくも出ない、藤村さんのホウレン草には私達研修生は改めて土づくりの重要性を感じさせられました。

注、中嶋常充(なかしま ととむ) 一九二〇年一月一日熊本県玉名郡玉東町に生まれる。
一九五二年クロロフィルとヘモグロビンの分子構造式からヒントを得て苦土肥料を開発。土壌と微量要素の研究を続け、現在農業科学研究所所長として、土壌分析、施肥設計の指導にあたっている。

おーつと 信号機!!

ペンネーム ルン子

私達が、いつも見ている信号機に、いつの間にか住所が付いている事を皆さんはすぐに気付きましたか？

みんな、

仲間・はなし



私も毎日、車を運転しているのですが、わかったのはそれが設置されてから、数週間間違った後でした。私達は、地元に住んでいるため、信号機については、あまり気にもとめていなかったのですが、それでも、信号機に付いている、

○条○丁目は、役に立ちますネ!!

第一こんな町でも、あの信号機は、都会的に感じます。(ジーン)

毎日見ている道路ですが、よく見ていると、色々な発見があるかもしれません。そんな事を考えると、いつも通る道も、けっこう楽しくなります。

今年の我家は

料理天国!!

もとラーメン娘

母が料理のあまり得意でない私に、ちよつと高い、オナベを買ってくれました。細めの主人のために「おいしいものを作ってあげなさい。健康な明るい家庭を築くの

は、主婦の役目ですよ。」と云っているのが、私にもわかりました。厚くてズシツと重いフライパンのような、中華なべのような、用途の広いなべです。今でも忙しく働いている母の、嫁いだ私への思いやりが伝わってきます。

料理のレパートリーが仲々増えてこないだろうと思っている母が「勉強しなさい」と言っているようです。たまに里帰りをすると、「一日三十品目を食べないとだめなのよ。」とか、「きちんと料理を作っているの。」と聞かれてこまっつしまします。

私は、子供の頃、ラーメン娘と呼ばれていました。ラーメンが好きで、ラーメンばかり食べていた私が、主婦となっても、インスタント物ばかり、家族に食べさせているのではないかと、疑われてもしかたない事でしょう。結婚をして、少しは料理するようになりましたが、なかなか三十品目を続ける事はむずかしいものです。

今年、せつかく贈ってくれた母の気持ちに応えるためにも、安くて、おいしい料理を家族のため

に作ろうと思っています。そうそう、婦人部の巡回講座も参考になったし、頑張ろう。

野菜生産者組合で 会員募集

中標津町野菜生産組合は、自家野菜の生産技術向上と、地元消費者に地域農業の理解を深める事を目的として、朝市を開催し、三年が経過しました。

現在、会員は十八名ですが、生産される野菜は新鮮で消費者の人氣も高く、朝市での売上も好調な事から、会員を募集致します。

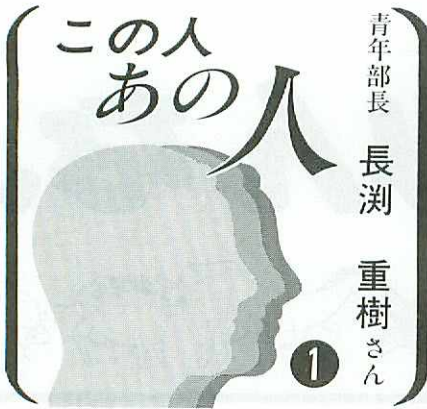
入会ご希望の方や、詳しく知りたい方は左記までご連絡下さい。
連絡先 北根室地区農業改良普及所
電話 二二二六三番
一月十六日まで



とにかくエネルギーギツシユ!! なんでもやろう!!



いつも明るい重樹さん、直樹君と



青年部長 長瀨 重樹さん

農業団体だけの考えにとど

まらず、異業種間交流という他の団体との積極的な意見交換、相互理解を深め、幅広い活動を展開している農協青年部は、夏まつりへ協力し、商工会青年部と共催の「じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場」では大盛況となりました。

また、札幌で開催された88ニューフロンティアフェスティバルへ参加し、じゃがいものPR販売をする等今年度はかなりエネルギーギツシユ。

青年部の催しに対する積極性がかなり見られるようですが……

「異業種交流によって、色々な角度からとらえた物の見方、考え方は、勉強になるね。とにかく催しを企画し、開催するにしても、そのアイデアの柔軟性、情熱のかけかたは、頭の下がる思いがするよ。彼らは、この町の産業として



「うちのヤツが一番大変だったと思う……」と、宇田子さんを氣遣う

の農業の方向を真剣に考えているし、その上で、地域全体の事も考えている。これからも、彼らとの関係を大切にして、互いに協力し合って、共同の取り組みをしていくべきだと考えています。」

青年部員に期待する事は……

「部員には、もっと積極的に活動に参加してもらおう事はもちろん、自分達の計画した事業に力をそそいでほしい。仕事が忙しい、家族が大変という事だけで、おろそかにしてほしくないな。」

農畜産物の消費拡大にしても、アピールできる場はたくさんある

と思う。確かに牛乳は、ある程度売れるようになって来たけど、安心はできない。食用のじゃがいもは、やっと取り組み始めたばかり。現在、協力という中で参加している「観光まつり」の仮装盆踊りに参加するとか、冬まつりでは、雪像製作に挑戦するとか、意欲さえあればできるはず、もっと利用しなくちゃ。」

部長になって、家族の負担は……。

「うちのヤツが一番大変だったと思う、子供が三人いて、小さいからネ、それに部長を引き受けた時は、子供達が色々大変だったからどうして俺が?とも思った。ただ今思えば、確かに大変かもしれない。でも、だれかがやらなくちゃ。仕事が忙しいとか、家族が大変だとか、言わないで、次の人も頑張っしてほしい。」

昨年は、苦勞かけたから、仕事を少しは簡素化して、自由な時間を作り、たまには、家族を連れてどこかへ出かけるとか、レクリエーションを考えています。」

楽しい雰囲気仲間作りを!!



左から三輪さん、杉本さん、安江さん、農業祭で…

各消費拡大に伴うキャンペーン活動、家族の健康に関わる料理講習など各種の講習会の開催。また、家族の健康に関する勉強会と色々な事業に取り組んで、活発に活動している農協婦人部。部長の杉本桂子さんに、新しい年を迎えて、お話しを聞きました。

—— 婦人部長として活動しておられますが、家族の方も色々な面で大変だと思えますが…

「会議などの日程は、家族三人がカレンダーに記入し、お互いゆずり合ったりして、出る日を調整するの。今は、一番お父さんが色々な面で、大変みたいネ。口に出したりしないし、活動のために出て行くのには、とても理解があります。」

—— 仕事でも忙しくて、その上、婦人部活動も大変だと思えますが趣味の踊りはどうですか——

「踊りの仲間にも、今は婦人部の活動で忙しいという事情を話し

て理解してもらっているの。」

—— 農協婦人部事業、活動内容でこれは続きたい。このような方法をとって良かったといった事はありますか？

「役員になると酷対、農協の消費者モニター、社会福祉協議会やその他に色々な団体の会議などがけっこう多く、なかには、日程的にもぶつかる事もあるので、本部役員の皆さんに分担して出てもらうようにしたのネ。」

一応各自の興味のある所へ出てもらい、役員会で、互いに見聞き



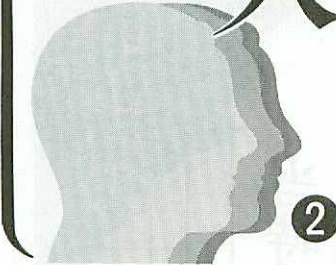
地区大会へも積極的に参加

して来た事を報告したりするのはとても勉強になりますヨ。

—— 新しい年を迎えるのですが、どのような方向で婦人部活動をしていくお考えですか。

「昨年は、いろいろな事業を行なう時、皆さん協力的で良く参加して頂いたんですよ。消費拡大や暮の「まめの共同購入」にしても役員だけで動こうとせず、いろいろな人に声をかけたのが良かったみたいね。昨年は、皆さんで決めた事を夢中で進めてきました。部員一人ひとりが、持つ意見とか考え方、また、創意工夫等、すばらしい事が色々あると思うので、役員と部員、それに事務局の二人三脚で行ないたいですね。あつ三人四脚ネ。これからの、婦人部は小さな事から少しずつ足がかりを作って、少しでも多くの部員の方が参加してくれる。また、参加したくなるような、興味の湧く楽しい雰囲気作り、仲間作りをしていきたいですネ。」と語ってくれました。

この人あの人



2

婦人部長 杉本 桂子さん



手作り講習会

思い出の

二枚の 写真

開陽 鈴木重蔵さん(七十七才)

当時、大活躍した私設開陽消防組

大正七年、小学校一年の時に、山形県から両親と共に開陽へ。初めは、開陽に学校もなく、武佐まで通ったそうです。

写真は、昭和の初め、私設開陽消防組が結成された時のものです。—当時の道具はどんなものでしたか、ポンプなんかありましたか？

「あつた、あつた、ガン桶ポンプみたいな形した通称『ガン桶ポンプ』と水をくむ『ズツクのバケツ』が消火器具、ポンプは、四人がかりの手押しポンプで、疲れたら、四人交替、また疲れたら交替という方法だった。それでも、昔の家だから屋根までは十分水が届いたもんだ。ただその頃の家は、火が出て、燃え出してしまえば、たき付

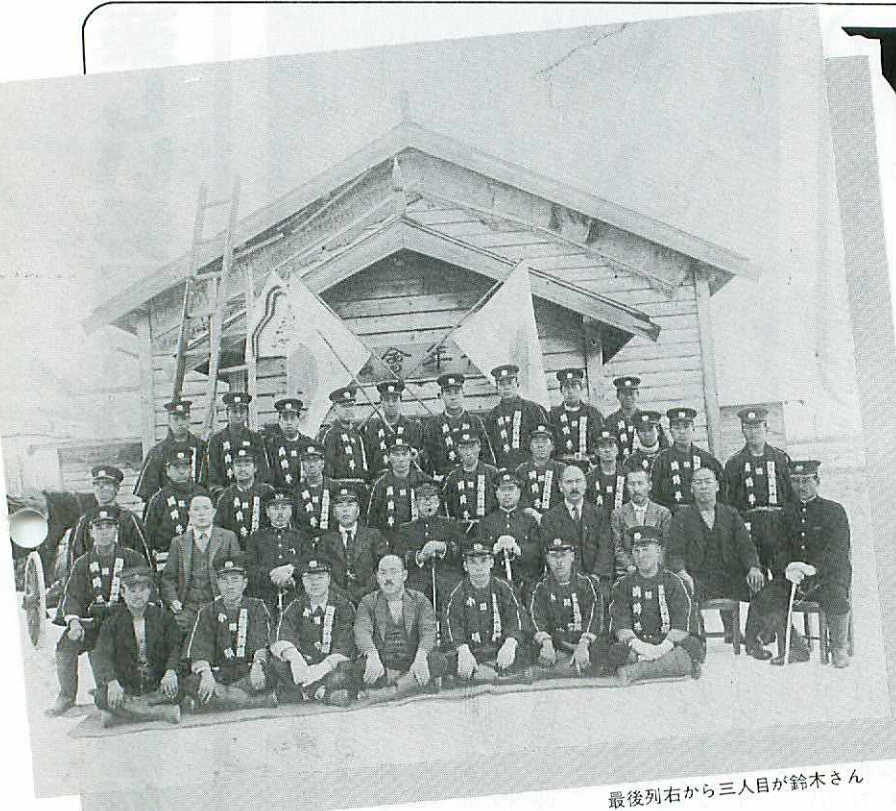
けに火を付けたようなものだったから、あつという間だったな。」
中標津市街であった火事にも、当時、使われていたトロッコにポンプをつみ、皆乗り込んで、大急ぎで消火に行った事もあるそうです。

「あの時は、中標津のポンプが使えなくて、開陽の消防組が大活躍し、そりやあもう意気揚揚と帰って来たものさ。」と懐し気に話してくれました。

昭和六年から、近衛歩兵として兵役にもつかれ、退役後の昭和十一年に奥さんの初子さんと結婚、今でも、ゲートボールや旅行へと元気に活躍中です。



旅行にもいつも一緒、仲のよいお2人



最後列右から三人目が鈴木さん

昭和46年度

原料甜菜の出荷終える



今年度、原料てん菜の出荷は十月二十日に始まり、十一月二十五日終了予定であったが、一部圃場等の条件が悪く、最終予定より五日遅れで終了しました。今年度は昨年同様天候不順の中、生産者の栽培技術も向上し、種子もハイラ一べからモノホマレに変えた事も相まって、近年にない高糖度で喜ばしい成果でした。平均収量についてはha当り三八、八九〇トンで、平均基準糖分が一七・八%、原料買入

基準糖分が一六・六一

一六・九で六十二年

度に対し四・五%

の目減りがありま

した。ビート耕

作者にとつては、

馬鈴しよ澱原の

生産調整があつた

中、いくらかでも

そのカバーが出来ま

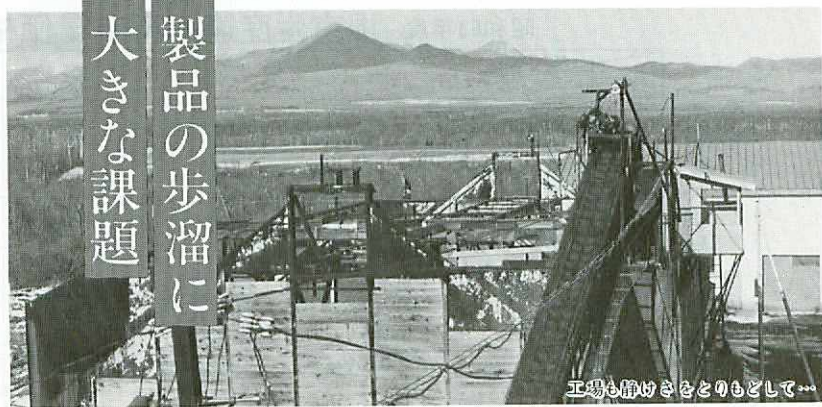
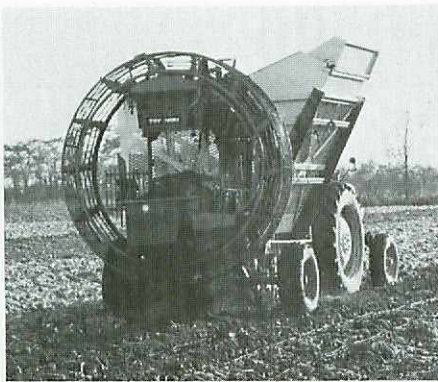
した。ビートの作付面

積での圧縮で六十四年度の作

付面積がさらにきびしい状勢

にある中で、来年度の作柄に

期待致したいところです。



工場も静けさを取りもどして...

製品の歩溜に

大きな課題

理量となり、製品生産量は、二一五、八四二袋で、工場割当袋数、二一七、六〇〇袋より一、七五八袋下廻りました。還元袋数では、一八三、七九四袋の割当に対し一八九、七六一袋となり、五、九六七袋上廻りました。歩溜は一七・五%（前年一七・九%）平均ライマン一六・四%（前年一六・八%）の実績となりました。今年度は、製品の歩溜の向上に努めて来ましたが、昨年と同様の結果となり、今後大きな課題をかかえる事になりました。現在六十四年度に向けて、製品歩溜の向上に取りくんでき、おりますので、耕作者各位の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今年度は、生産調整の中で操業して来ましたが、去る十一月

二十二日、無事終了しました。原料処理量は五二二、九一六俵で、計画より一二、九〇〇俵上廻る処



理事会

の経過

第九回理事会

開催月日 十二月七日

開催場所 農協中会議室

〈議案〉

一、昭和六十二年産、共計澱粉の精算について。

二、昭和六十三年産、共計澱粉の生産物金融について。

一袋、二、九〇〇円で決定。

〈協議事項〉

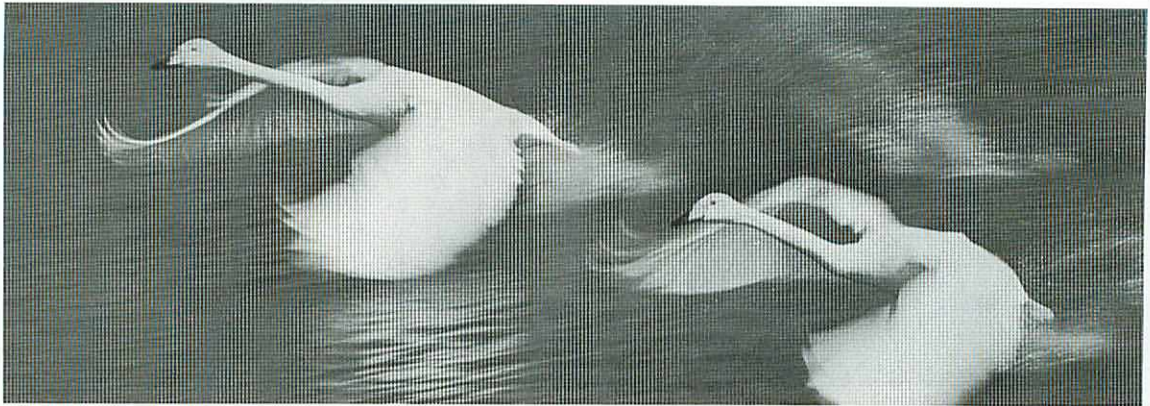
一、根室生産連事業推進委員の後任について、外。

委員、秋山政雄理事。

〈報告事項〉

一、馬鈴薯耕作者全体会議の開催と、共計澱粉の取りまとめについて。

二、ジャージー牛の導入経過について。



昭和63年度 根室生産連家畜市場価格

(12月分)

種別		区分	上場数	成立数	売買金額	平均	最高	最低
乳	牛	育成(12ヶ月以下)	19	19	4,346	229	303	91
		育成(12ヶ月以上)	11	11	3,026	275	311	240
	牛	初 妊 牛	35	25	10,728	429	550	275
		経 産 牛	34	30	9,654	322	457	209
		小 計	99	85	27,754	327	0	0
肉	牛	初 生 ト ク	53	49	4,076	83	150	5
		牡 ト ク	25	24	3,363	140	280	15
	牛	去勢(12ヶ月以下)	137	136	30,893	227	276	50
		去勢肥育(12ヶ月以上)	0	0	0	0	0	0
		育 成 牛	94	85	22,323	263	390	63
牛	未經産肥育牛	0	0	0	0	0	0	
	成 牛	302	274	63,206	231	358	140	
	小 計	611	568	123,861	218	0	0	
その他(馬・羊他)			2	0	0	0	0	0
生産連市場計			712	653	151,615	232	550	5

「売りがく買い易い」をモットーに、毎回多数の家畜が出場して
ます。

◎場 所 中標津町南中
◎定期市場 毎週水曜日
◎セリ開始 午前十時

完全週休2日制

来年二月第一週から
全金融機関一斉実施へ

どはすでに全銀協と同一歩調をとる方針を明らかにしています。

こうした中で、系統としては、全国・都道府県段階でそれぞれ検討委員会がもたれ検討をすすめています。が、全体的な流れの中で、他金融機関と同一歩調をとることで、基本合意（全中）しました。

全銀協は、八月二十三日の理事会で六十四年二月の第一週から完全週休二日制を実施することを正式決定するとともに、実施細目を明らかにしました。

また、郵政省も同日、郵便局の毎土曜日、窓口業務休止を正式に発表しましたが、相銀・信金・信組・労金な



12月5日からスタート

道銀・北洋相互・道相互 3行の4422店と CD・ATM相互利用へ

☆このたび、北海道銀行・北洋相互銀行・北海道相互銀行と北海道信連及び農協との間で、CD・ATM相互利用を十二月五日、(月)から開始することで合意しました。

☆これにより、四者のCD・ATM設置箇所数は、合計七〇二箇所となり、これまでの農協・信連の二六〇箇所が倍増することで、特に都市部での利便性が一段と向上

しました。

☆今年二月からの完全週休二日制実施時には、顧客サービス面で大きな力を発揮するものと考えられます。

今後共、キャッシュカードを積極的にご利用下さい。



63年11月分乳成分・乳代単価ベスト10^{テン}

順位	脂肪率 %	無脂固形分 %	乳代単価 円	体細胞数 千
1	本田 萌 4.42	佐藤 拡 9.09	本田 萌 87.43	筒井 富男 52
2	松村 晴由 4.37	下川原 政市 9.06	中村 敏夫 87.03	飯島 清市 56
3	中村 敏夫 4.36	久我 敏也 9.0	松村 晴由 86.98	小林 金司 58
4	岡 次郎 4.23	沖 一美 9.0	赤堀 岩男 85.21	斉藤 一美 65
5	赤堀 岩男 4.20	松本 正通 8.95	久保 栄興 84.86	三森 章司 70
6	大木 敏夫 4.18	水本 正二 8.93	岡 次郎 84.67	桜井 寿夫 77
7	伊東 信一 4.18	今井 照男 8.92	伊東 信一 84.67	篠永 栄 79
8	久保 栄興 4.18	白田 慶和 8.92	松本 正通 84.44	米栖 寛 81
9	田代 敬治 4.18	佐藤 一広 8.92	青木 フサ子 84.28	日下 芳昭 86
10	西井 武 4.17	中村 敏夫 8.92	太田 功 84.28	山下 孝二 92
				下川原 政市 92
平均	3.84	8.69	80.87	318
最低	3.43	8.21	76.87	1,072

4%以上 40戸



北海道地方
三ヶ月予報
日本気象協会

気象概況

この期間、寒暖の変化が大きく、二月は寒さの厳しい日が多いでしょう。

月別予報

一月 初め季節風が強まりますが、長続きせず、寒さの緩む期間があるでしょう。平均気温は、平年並、降雪量も平年並ですが、太平洋側ではやや少ない見込みです。

二月 一時寒さの緩む時期がありますが、後半は冬型の気圧配置が強く寒さの厳しい日が多く、日本海側では、一時大雪の恐れがあります。

三月 初め季節風が強く、寒さの厳しい日もありますが、その後、天気は周期的に変わってでしょう。平均気温は平年並、降水量も平年並ですが、太平洋側ではやや少ない見込みです。



人生いろいろ

お酒だっていろいろ

暮の忘年会、お正月、新年会とお酒どっぷりの生活、少しは、体をいたわるために。酒は、体を暖めるものばかりでなく、体を冷やすものもあります。ウイスキー、ビールは、体を冷やす方の酒。この手の酒を飲む時は、生姜入りなど、体を暖めるような香をとおり、ウイスキーならホットがお奨めです。

日本酒は、カンが体に良いようですが、酸性ですから動物性タンパク質や脂肪ばかりとると、体が酸性にかたより

ます。ワインはアルカリ性とは言っても、微々たるもの、やはり同じです。

つまみは、青い野菜を十分とりましょう。飲み過ぎて二日酔いの時。無果汁の炭酸飲料などに氷を浮かべて冷やし、それをスプーン一杯ずつ、半カップくらい飲みます。徐々に胃壁が冷える事によって、吐き気がおさまります。二日酔いや、吐き気がひどくて、何も口にできない時に効果あり、体を暖かくして、ゆっくり、ひと口ずつ飲む事です。

消費拡大キャンペーンにご協力を!!



予想以上の大盛況!!

今月の
ア
オ
ト

私達の生産する牛乳、じゃがいもをPRするため、農協婦人部では去る十二月八日、農協ストアにて消費拡大キャンペーンを実施致しました。今回は、牛乳を使ったカボチャのスープとじゃがいもを使ったじゃがいものニョッキの二品を紹介致しました。料理を口にする方は皆、「おいしい。」と、中にはおかわりをする人も。三時終了の予定が、なんと十二時半には一五〇食分の料理が品切れになってしまっただけの大盛況に終わりました。ご協力下さいました方々にはお礼申し上げます。ありがとうございます。これからも私達婦人部はますます頑張ります。

婦人部

まめの共同購入 マメに豆売り、大忙し



サア一頭張りましょう!



豆売りに頑張る、カンパリマンタノ

毎年恒例となりました婦人部まめの共同購入を今年も実施しました。今回は、農協ストア店頭価格とわずかしが差がなく、各支部長が取りまとめをし、配付するという方法をとっていましたが、今年はまだの袋詰めから婦人部で取り組み安価購入を図りました。最初、山積みになされた豆を見てどうなることかと思いましたが、手際良い流れ作業で、予定通り午前中は袋詰め、午後からは引き渡しと忙しい一日でした。



さすがスピード料理/もうできた 倶楽部地区で...

婦人部地区巡回講座

農協婦人部では各
地区巡回講座を十一月
三十日俵橋地区をかわき
りに実施しました。



なかなか美味しい

アレルコム

午前中はス
ピード料理、
午後からは正
しい搾乳につ
いての勉強会
を行ないまし
た。七地区巡回
し、参加者は百
名。料理は、早
く、手軽に、身
近にある材料で
でき、おまけに味も良い
と好評。また、正しい
搾乳についての勉強会
でも皆熱心に取り組んで
いました。

元気一杯、三つ子誕生!!

...とは牛のはなし...

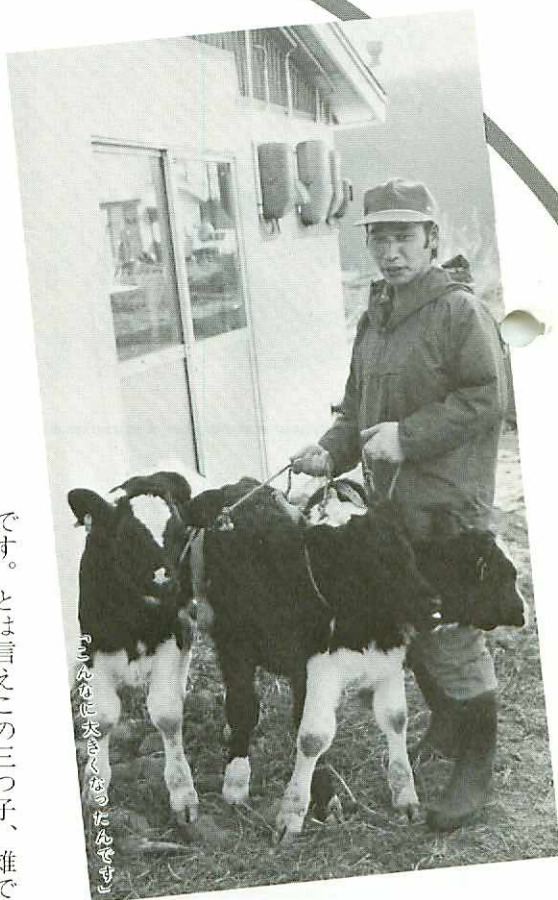
当幌地区 中山 進一さん宅

「以前にも双子の仔牛が生まれ
た事があるんだけど、その時は、
未熟で、弱くて、大きくなるまで
は、朝仕事で牛舎に行っても一番
最初に様子を見たり、けっこう苦
労したんだけど、今回生まれた三
頭は、元気に育ってくれてよかつ
たヨ」と進一さん

「本当ネ、この三つ子は、普通の
仔牛達と同じ扱いで、なんともな
くてほんとに楽だったワネ!!」と
奥さん。

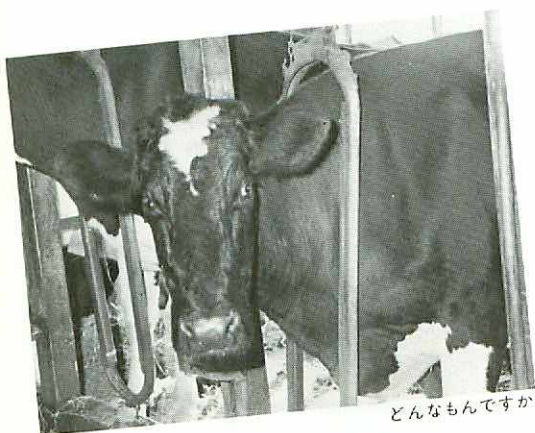
母牛は、昨年買った、クレセン
ト・ディビデント・グロウ号（五十
六年八月九日生まれ）

六十三年の十一月十四日に、み
ごと安産で三つ子を産み、鼻高々



「こんなに大きく育った仔牛です」

です。とは言えこの三つ子、雄で
すから、いつまでも飼えません。
出ベソの「くろ助」を残し、二頭
は初生犂として、十二月十九日、
農協へ引き取られました……。



どんなもんですか

12月の 組合日誌

- 7日 第9回理事会
- 8日 店舗利用者懇談会
- 12日 馬鈴薯耕作者全体会議
- 17日 甜菜振興会役員会
- 22日 第6回営農委員会
- 23日 第4回酪農委員会
第4回酪対役員会
- 28日 第10回理事会

業 務	月日(曜日)	営業時間	
一 般 業 務	1月7日(土)	午前9時よ り正午まで	平常営業
貯 金・クミ カン・カワセ	1月4日(水)	平常営業	
A T M (現金自動受 入・支払機)	1月4日(水)	平常営業	
ス ト ア	1月4日(水)	平常営業	
農協スタンド	1月4日(水)	平常営業	
桜ヶ丘給油所	1月4日(水)	平常営業	
人 工 授 精	1月4日(水) ～6日(金)	受 付 時 間 午前10時 まで	1月1日～ 1月3日 まで休業

年始の業務日程

お知らせ

冬道の 安全運転 の心得

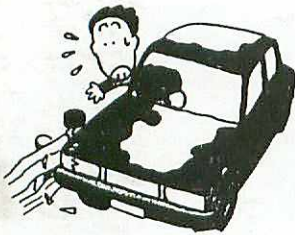
冬道の運転は、夏道とは違った運転態度が必要です。心身のゆとりや冬の装備等、冬道にあった準備をしましょう。

ゆとりのある運転

安全な運転のためには、ルールを守り、注意力を集中し、交通の状況を正確に判断して、常に一步先のことを予測することが必要です。そのためには、疲労や心配事等をさげ、気分を安定させておくことが大切です。

また、冬期は寒冷等気象条件の変化によって生理機能の低下等、心身に与える影響が大きいため、運転時の健康に配慮すると共に、保温のきく服装を整えるなど、心身にゆとりをもつよう心がけましょう。

ずる雪道！
スピードダウン



編集後記

新しい年の始まりは、旅の始めに第一歩を踏み出す時のような、ある種の緊張と期待感があります。「のうきよう・なかしべつ」を担当して、二回目のお正月、時には楽しみながら、時にははげつこう頭を悩まし、毎月なんとか曲がりなりにも発行できると、やっと安堵する、その繰り返しです。

一編の原稿を寄せてくれる人達、恥ずかしいと言いつつも取材に応じてくれる人達など、いつも皆さんの心遣いや励ましに感謝しています。

私自身、人との接し方はヘタだと思いますが、それでも新たな出会いや発見があり、毎日が楽しみです。

今年こそあれをやってみよう、これはこうしたいと考えているのに、延び延びになっていく事はありませんか。私も色々あり、一つずつでもやりとげたいものです。

八九年、明るい良い年になるよう、互いに励まし合い、夢と希望に満ちた第一歩を踏み出しましょう。